

今年度の活動と現況

平成27年3月21日
十勝川中流部市民協働会議

十勝川中流部市民協働会議の主な活動拠点と趣旨(平成26年度)

十勝大橋 下流左岸

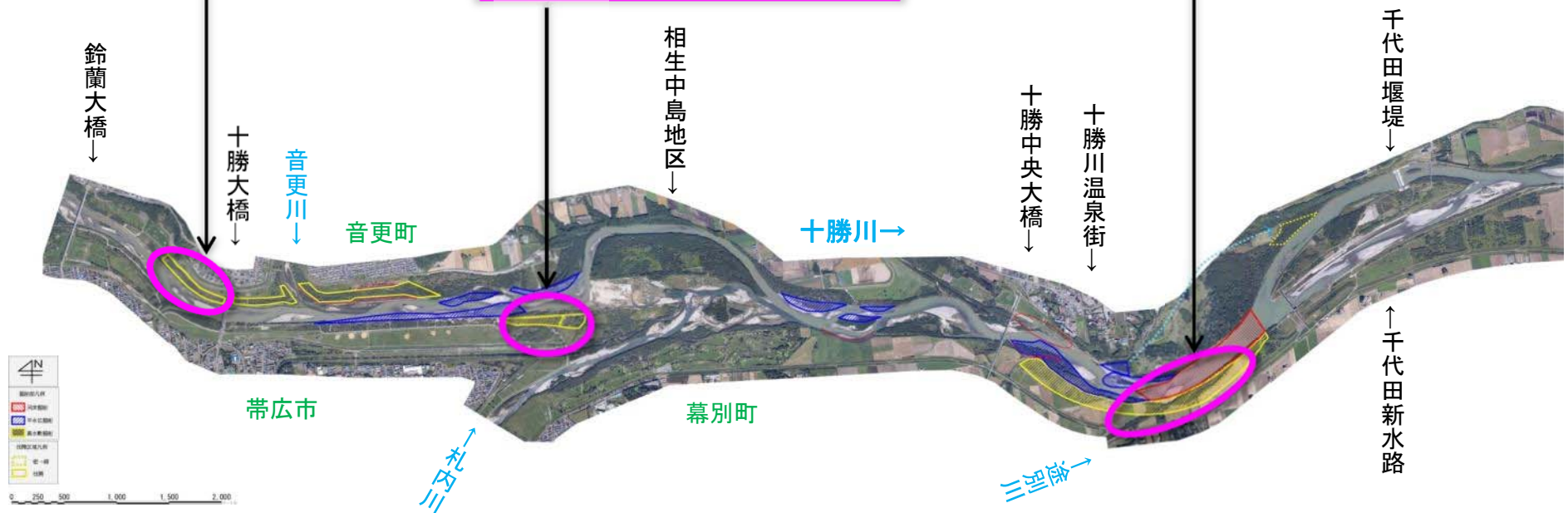
・掘削跡地に在来草地を復元し河道の阻害となる樹林化を防止する。

相生中島 上流湿地

・掘削跡地を湿地化し河道の阻害となる樹林化を防止する。

途別川 合流点左右岸

・掘削跡地に在来草地を復元し河道の阻害となる樹林化を防止する。



上記実現を踏まえ、より良い川づくりを学生、諸団体等とともに目指して活動する。

No	日 時	2014年度（4月～8月）主な活動内容一覧（他に事務局会議4回実施）
1	H26. 4. 24	・札幌－ 土木学会北海道支部地域活動賞の授賞式
2	H26. 5. 11	・十勝大橋上流左岸－ 工事で伐採される持続性広葉樹幼木の移植
3	H26. 5. 15	・途別川合流点－ 草地復元箇所の見学 ・相生中島上下流－ 工事掘削終了箇所の見学と湿地周辺の清掃
4	H26. 6. 7	・相生中島湿地－ 掘削による中島創出と周辺の清掃 ・十勝大橋上流左岸－ オオアワダチソウ除草
5	H26. 6. 12	・途別川合流点・千代田新水路－ 工業2年生現地見学
6	H26. 6. 14	・十勝大橋上流左岸－ 除草作業区域内の持続性広葉樹マーキングと オオアワダチソウ除草
7	H26. 6. 16	・途別川合流点・千代田新水路・十勝が丘展望台－ 工業3年生現地見学
8	H26. 6. 21	・十勝大橋上流左岸－ 農高生現地測量とオオアワダチソウ除草
9	H26. 7. 8	・相生中島湿地・途別川合流点－ 工事箇所現地見学及び白人樋門見学
11	H26. 7. 25	・相生中島湿地－ 農高生ヨシ搬出・ヨシ棹設置 ・十勝大橋上流左岸－ヨシ移植
12	H26. 7. 26	・十勝中央大橋－ 湿地環境形成の可能性の検討材料として試掘実施
13	H26. 8. 9	・相生中島湿地－ 農高生魚類・底生動物の生息調査及び伐採木と玉石を 使い水生生物の生息環境域を設置
14	H26. 8. 30	・とがち館－ 第5回 十勝川中流部川づくり報告会

No	日 時	2014年度（9月～3月）主な活動内容一覧（他に事務局会議4回実施）
15	H26. 9. 10	・相生中島湿地－河川管理者による樹木伐採箇所現地説明
16	H26. 9. 29	・途別川合流点－工業高校3年生による現地見学と草地デザイン
17	H26. 9. 30	・途別川合流点－工業高校2年生による現地見学と草地デザイン
18	H26. 10. 18	・相生中島湿地－農高生による魚類調査
19	H26. 10. 29	・千代田新水路－さけます増協によるサケ標識放流の補助作業
20	H26. 11. 2	・十勝大橋上流左岸－農高生による在来草本種子の播種
21	H26. 11. 10	・途別川合流点－工業高校3年生による現地測量と在来草本種子の播種及びタンチョウ餌台設置
22	H26. 11. 13	・途別川合流点－工業高校2年生による現地測量と在来草本種子の播種及びタンチョウ餌台設置 ・相生中島・十勝川温泉付近－タンチョウ餌台設置
23	H26. 11. 21	・途別川合流点－湿地内の水生生物調査と在来草本種子の追加播種
24	H26. 12. 6	・音更川合流点－公募伐採に先立ち持続性広葉樹の移植作業
25	H27. 3. 21	・第6回 十勝川中流部川づくり報告会

2014. 9. 10 河川管理者による樹木伐採箇所の説明 (河川管理者4名、他10名)

- 十勝川相生中島地区上流右岸の湿地環境形成箇所において、十勝川中流部川づくりワークショップに基づく上下流の河畔林伐採箇所の現地確認を実施した。



現地確認箇所



参加者への、現地確認趣旨説明状況

上流部伐採範囲の樹木状況



下流部伐採範囲の樹木状況



2015年3月18日下流部伐採後の樹木状況



2015年3月18日上流部伐採後の樹木状況

2014. 9. 29 工業高校3年生による現地見学・草地デザイン (生徒38名、他12名)

- ①、途別川合流点左右岸の工事掘削箇所草地復元へ向け、現地見学を実施した。



①ファシリテーターと工事後の状況を確認



②コンセプトの討議と、平図デザイン作成



班別担当区域



③班毎に平面デザインを発表



④平面デザインから共通点を整理し、全体平面デザインを作成



全体平面デザイン (案)



全体平面デザイン (案) に基づいた「草地復元案 平面図」

2014. 9. 30 工業高校2年生による現地見学・草地デザイン (生徒37名、他13名)

- 1、途別川合流点右岸の工事掘削箇所草地復元へ向け、現地見学を実施した。



①ファシリテーターと工事後の状況を確認



②コンセプトの討議と、平図デザイン作成



③班毎に平面デザインを発表



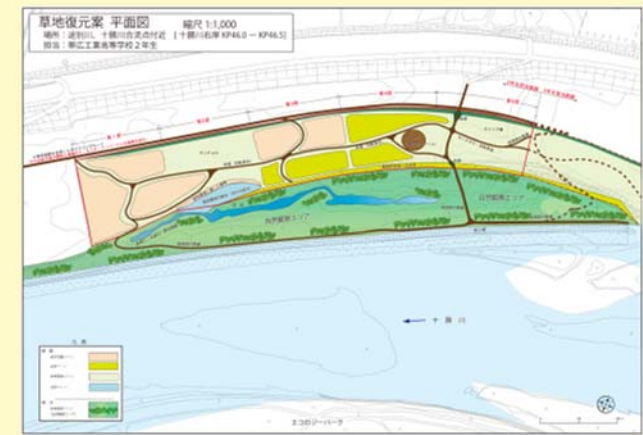
④平面デザインから共通点を整理し、全体平面デザインを作成



班別担当区域



全体平面デザイン (案)

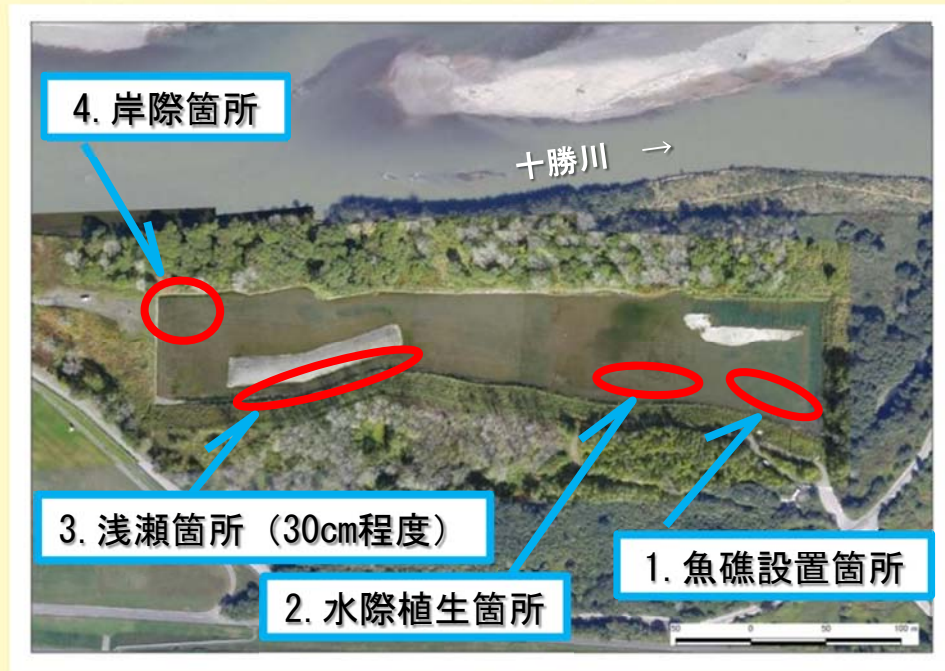


全体平面デザイン (案) に基づいた
「草地復元案 平面図」

2014. 10. 18 農高生による魚類調査

(生徒15名、他26名)

- 相生中島湿地内にどれだけの魚類が生息しているかを把握するために定量調査を行った。今後の基礎データ（経年変化等）とする。



1. 調査結果：全体で7魚種，978個体を確認

2. 池全体の推定魚類生息数 → 約20,527個体

・イトヨ：51% ・ ウガイ類：35% ・ フクドジョウ：10% ・ その他：4%

密度面積法

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{生息密度} = \text{個体数 (または重量)} \div \text{調査面積} \\ \text{全量} = \text{生息密度 (個体/m}^2 \text{またはg/m}^2 \text{)} \times \text{面積 (m}^2 \text{)} \end{array} \right.$$

① 魚類調査の方法、手順、魚種等についての説明



② 4箇所をそれぞれ3班で調査



2014. 10. 29 さけ・ます増協によるサケ標識放流の補助作業

- さけ・ます増殖事業協会による、さけの放流（100匹）に当会議メンバーも参加した。



放流箇所



③ 素手や網を使って運搬



① 水槽から引き揚げ、
装着箱へ

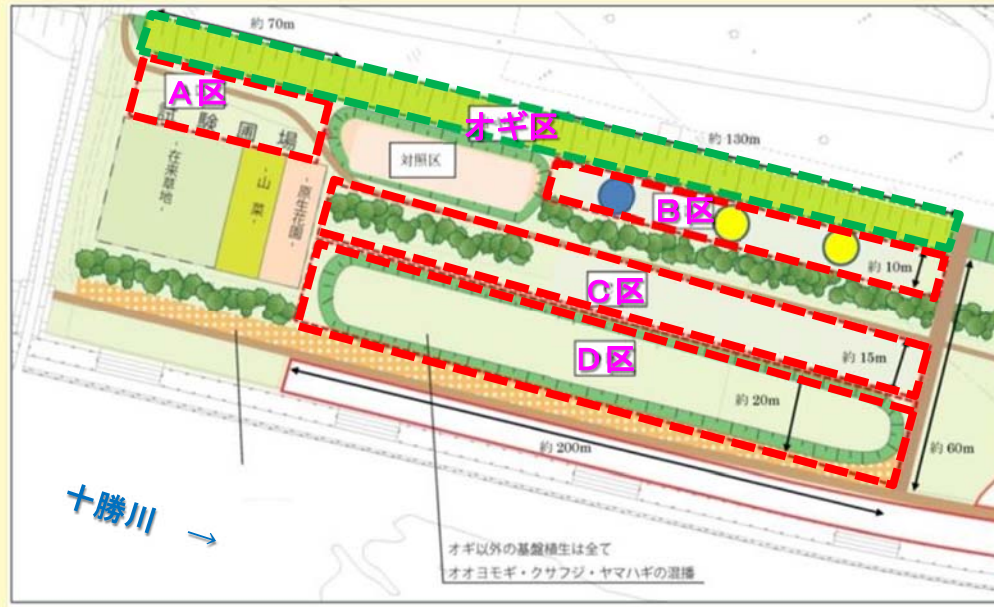


② 背びれへ標識を装着



2014. 11. 2 農高生による在来草本種子の播種 (生徒11名、他14名)

- 草地復元へ向け測量した十勝大橋上流左岸へ、在来草本種子を播種した。



播種位置図

区 域	種子種類
A区・B区 C区・D区	オオヨモギ、クサフジ、 ヤマハギ
オギ区	オギ
B区一部	● ホザキナナカマド、 ● ホザキシモツケ



① 作業範囲と手順の説明



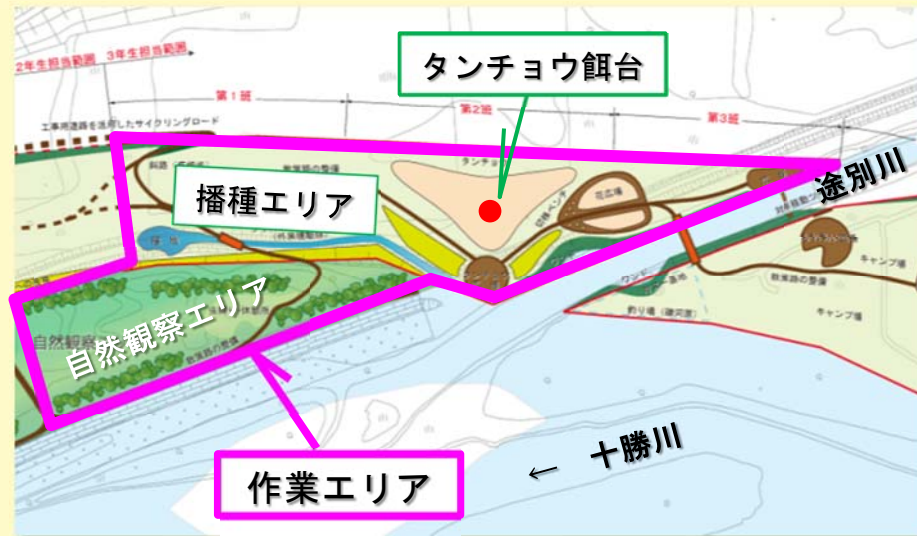
③ 播種状況



② 種子と土壌改良剤の攪拌作業

2014. 11. 10 工業高校3年生による現地測量と在来草本種子の播種及びタンチョウ餌台設置 の播種及びタンチョウ餌台設置 (生徒40名、他18名)

- 9月に作成したデザインを基に、測量・播種・散策路整備そしてタンチョウの餌台を設置した。



作業平面図



① 作業前説明



② 播種範囲と散策路の測量



⑤ デントコーンを使い餌台づくり



④ 散策路範囲に見出し杭を設置

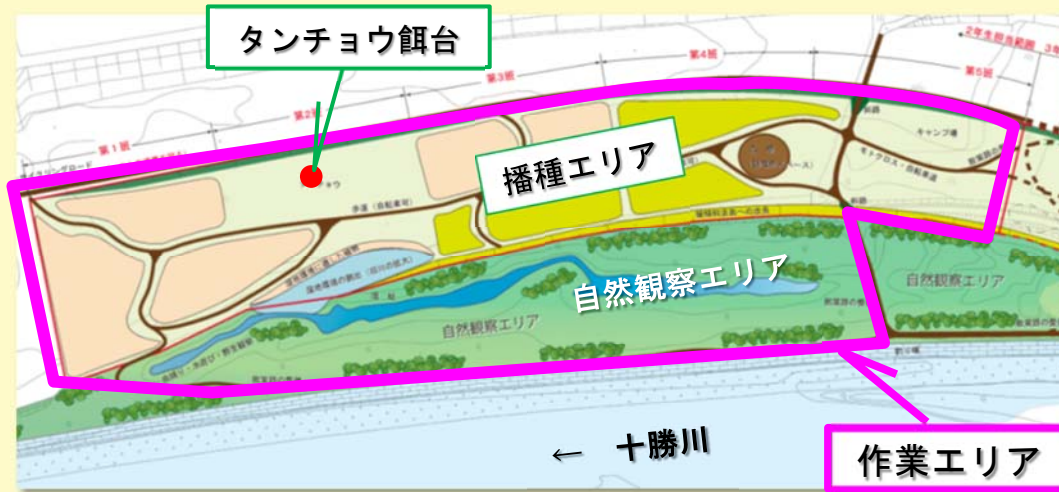


③ 播種作業

2014. 11. 13 工業高校2年生による現地測量と在来草本種子の播種及びタンチョウ餌台設置

(生徒40名、他21名)

- 9月に作成したデザインを基に、測量・播種・散策路整備そしてタンチョウの餌台を設置した。



作業平面図



① 播種範囲と散策路の測量



② 播種作業



2015年2月10日 2羽家族



③ デントコーンを使い餌台作り

2014. 11. 13 タンチョウ餌台設置

(協議会3名、他5名)

●タンチョウが安定して越冬できるようにし、環境省が推進している越冬地の分散とさらには観光資源を目指し、タンチョウの餌台を設置した。



タンチョウ餌台設置箇所



1

作業平面図

- ①相生中島
- ②第一ホテル
- ③観月苑
- ④大平原
- ⑤エコパ ビジターセンター
- ⑥エコパ コテージ



6



5



2



3

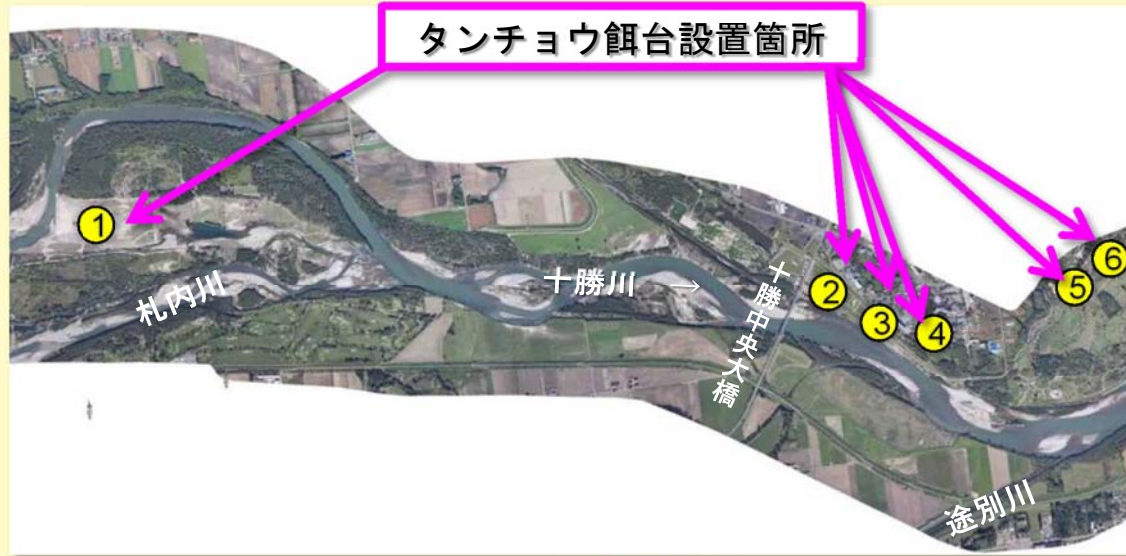


4

2014. 11. 13 タンチョウ餌台設置

(協議会3名、他5名)

- タンチョウが餌台を利用しているか状況を調べた。6箇所全てにおいてタンチョウの餌台利用が確認された。(エコロジーパークについては写真がない。)



作業平面図

- ①相生中島 ②第一ホテル ③観月苑 ④大平原



12月26日 3羽家族



12月7,8日 1羽



12月10日 3羽家族



12月26日 給餌場足跡

2014. 11. 21 途別川合流点-湿地内の水生生物調査と在来草本種子の追加播種

(協議会メンバー10名)

- 1. 自然観察エリア内にある、洪水時に残った閉鎖水域の水生生物調査を行った。



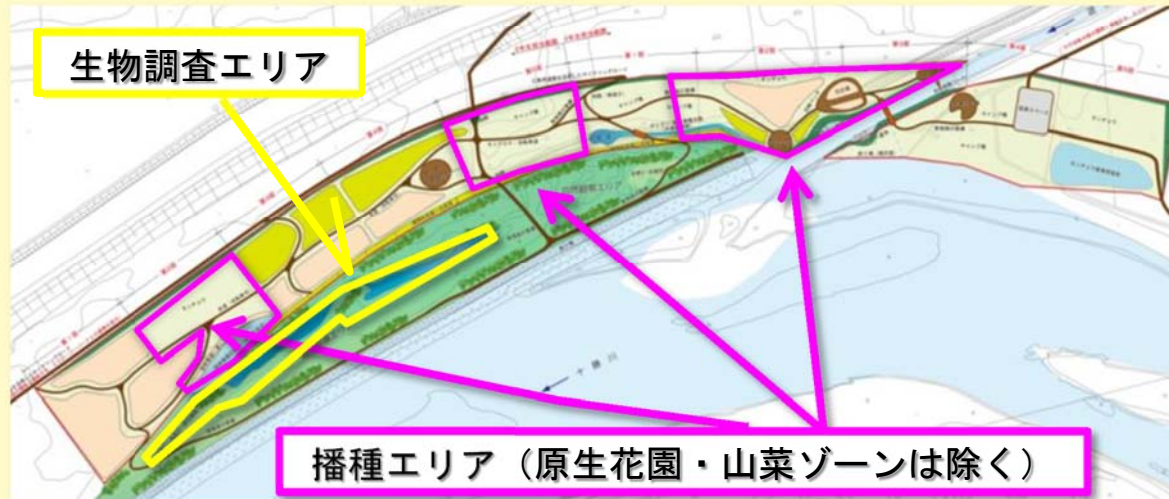
① 捕獲状況



③ 捕獲生物

	種名	採捕個体数	環境省 レッドリスト	北海道 レッドデータブック
魚類	ヤチウグイ	1	準絶滅危惧 (NT)	
	ウグイ属の一種	5		
	エゾホトケドジョウ	5	絶滅危惧IB類 (EN)	絶滅危惧種 (EN)
	イバラトミヨ	5		
甲殻類	ミズムシ	1		

- 2. 11月10日と13日に播種できなかった種子を追加播種した。



作業平面図

播種作業の状況



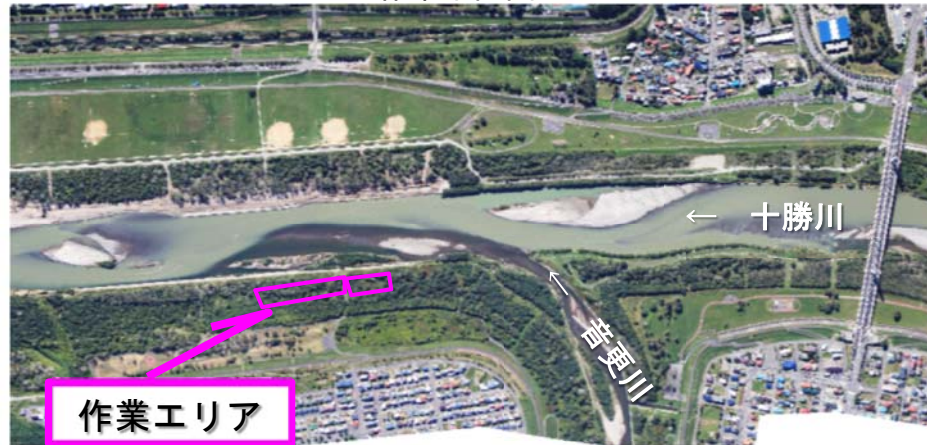
播種した種子と土壤材料

- ・オオヨモギ
- ・ヤマハギ
- ・ピートモス

2014. 12. 6 公募伐採に先立ち持続性広葉樹の移植 (協議会メンバー14名)

- 音更川合流点下流において公募伐採に先立ち、持続性広葉樹の移植作業を行った。
伐採範囲にある持続性広葉樹 (ハルニレ、ヤマグワ、ミズナラ等20本程度) を保全樹林帯の日当たりの良いところへ移植した。

作業平面図



平成25年撮影



① 作業に先立ち周辺のごみを清掃



④ 移植完了



③ 移植木埋戻し



② 移植木掘り起し

報道記事一覧

北海道建設新聞
平成26年9月2日

帯広工高 デザイン作成へ 十勝川中流部市民協働会議 川づくり報告会



年度後半の活動予定も確認した

【帯広】十勝川中流部市民協働会議は8月30日、帯広市市民協働会議会館で、本年度の川づくり報告会を開催した。報告会には、帯広工業高等専門学校（帯広工高）の学生も参加し、協働会議の活動内容や、川づくりの現状について報告された。また、年度後半の活動予定も確認した。

報告会には、帯広工高の学生も参加し、協働会議の活動内容や、川づくりの現状について報告された。また、年度後半の活動予定も確認した。

第5回川づくり報告会（8月30日）

十勝毎日新聞
2014年(平成26年)9月4日(木曜日)

「生物の成長確認」 十勝川中流部川づくり 帯農高生が活動報告

【帯広】十勝川中流部市民協働会議は、9月3日、帯広工業高等専門学校（帯広工高）で、本年度の川づくり報告会を開催した。報告会には、帯農高生も参加し、協働会議の活動内容や、川づくりの現状について報告された。また、年度後半の活動予定も確認した。

北海道通信
平成26年9月3日【水曜日】

本年度の取組など説明 十勝川中流部市民協働会議 第5回川づくり報告会開く

【帯広】十勝川中流部市民協働会議は、8月30日、帯広市市民協働会議会館で、本年度の川づくり報告会を開催した。報告会には、帯広工業高等専門学校（帯広工高）の学生も参加し、協働会議の活動内容や、川づくりの現状について報告された。また、年度後半の活動予定も確認した。

北海道通信
日刊建設版

高校生参加し川づくり 十勝川中流部市民協働会議 草地復元へ現地視察など

【帯広】十勝川中流部市民協働会議は、9月2日、帯広市市民協働会議会館で、本年度の川づくり報告会を開催した。報告会には、帯広工業高等専門学校（帯広工高）の学生も参加し、協働会議の活動内容や、川づくりの現状について報告された。また、年度後半の活動予定も確認した。

北海道通信
日刊建設版

草地復元デザイン 帯広工高生と環境確保提案

【帯広】十勝川中流部市民協働会議は、9月2日、帯広市市民協働会議会館で、本年度の川づくり報告会を開催した。報告会には、帯広工業高等専門学校（帯広工高）の学生も参加し、協働会議の活動内容や、川づくりの現状について報告された。また、年度後半の活動予定も確認した。

相生湿地魚類調査(10月18日)

北海道通信
日刊建設版

地域一体の川づくりを 十勝川中流部市民協働会議 帯広農高生と魚類調査実施

【帯広】十勝川中流部市民協働会議は、10月18日、相生湿地で、魚類調査を実施した。調査には、帯広農高生も参加し、協働会議の活動内容や、川づくりの現状について報告された。また、年度後半の活動予定も確認した。

十勝毎日新聞
2014年(平成26年)10月20日(月曜日)

高校生が魚類調査 十勝川中流部市民協働会議 相生湿地へ現地視察など

【帯広】十勝川中流部市民協働会議は、10月18日、相生湿地で、魚類調査を実施した。調査には、帯広工業高等専門学校（帯広工高）の学生も参加し、協働会議の活動内容や、川づくりの現状について報告された。また、年度後半の活動予定も確認した。

十勝毎日新聞
2014年(平成26年)12月9日(火曜日)

高校生の手で草地復元 帯広工業高等専門学校 タンチョウ給餌場も

【帯広】十勝川中流部市民協働会議は、12月9日、帯広市市民協働会議会館で、本年度の川づくり報告会を開催した。報告会には、帯広工業高等専門学校（帯広工高）の学生も参加し、協働会議の活動内容や、川づくりの現状について報告された。また、年度後半の活動予定も確認した。

北海道通信
平成26年11月15日
北海道建設新聞

種まきや散策路整備 工高生らが草地復元

【帯広】十勝川中流部市民協働会議は、11月15日、帯広市市民協働会議会館で、本年度の川づくり報告会を開催した。報告会には、帯広工業高等専門学校（帯広工高）の学生も参加し、協働会議の活動内容や、川づくりの現状について報告された。また、年度後半の活動予定も確認した。

北海道通信

復元案に賛い播種作業 十勝川中流部市民協働会議 帯広工業高生40人も参加

【帯広】十勝川中流部市民協働会議は、11月15日、帯広市市民協働会議会館で、本年度の川づくり報告会を開催した。報告会には、帯広工業高等専門学校（帯広工高）の学生も参加し、協働会議の活動内容や、川づくりの現状について報告された。また、年度後半の活動予定も確認した。

十勝毎日新聞
2014年(平成26年)12月12日

タンチョウの群れ来た 帯広高生たち設置の給餌場

【帯広】十勝川中流部市民協働会議は、12月12日、帯広市市民協働会議会館で、本年度の川づくり報告会を開催した。報告会には、帯広工業高等専門学校（帯広工高）の学生も参加し、協働会議の活動内容や、川づくりの現状について報告された。また、年度後半の活動予定も確認した。